

大分市感染症発生動向情報

(2024年第6週 2月5日～2月11日)

今週の動向について

(大分市保健所)

**インフルエンザの患者報告数は53.00でした。前週より増加しています。
警報レベルが続いており、引き続き注意が必要です。**

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって起こる感染症です。

- <症状> 1～3日ほどの潜伏期の後に発熱(38度以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳・鼻水などの症状がこれに続きます。
- <経路> 手指に付着したウイルスや、感染者の咳、くしゃみや会話などで生じるウイルスを含んだ飛沫や空気中を漂うエアロゾルが、目や気道の粘膜に侵入することで感染します。
- <予防> 流水、石けんによる手洗い、咳エチケット(マスク等)を励行し、体の抵抗力を高めるように十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、適度な湿度(50～60%)の保持を心がけましょう。

**感染性胃腸炎の患者報告数は25.09でした。前週より増加しています。
警報レベルが続いており、引き続き注意が必要です。**

感染性胃腸炎は、1年を通して発生しており、ノロウイルスやロタウイルス等が原因で起こる疾患です。

- <症状> 原因となるウイルスなどによって異なりますが、主に嘔吐や下痢、腹痛、発熱などがみられます。
- <経路> 多くの場合、汚染された水や食品による経口感染や、感染者の嘔吐物や便に触れた手を介して感染します。
- <予防> 特に調理前・食事前や排便後の手洗いを十分に行い、タオルの共用は避けましょう。
- <処理> 嘔吐物や便などを処理する際はマスクや手袋を着用し、ペーパータオル等で嘔吐物や便を拭き取り、ビニール袋などに入れしっかり封をして廃棄してください。その後、嘔吐物・便のあった場所と汚れた衣服・物品を消毒液:水500ml+ペットボトルキャップ2杯の塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒してください。

**咽頭結膜熱(プール熱)の患者報告数は2.82でした。
前週より減少していますが、警報レベルが続いており、引き続き注意が必要です。**

咽頭結膜熱(プール熱)は、アデノウイルスが原因で起こる、小児に多い疾患です。

- <症状> のどの痛み、目の充血が特徴で、高熱が数日続きます。頭痛をはじめ、食欲不振が3～7日続くことがあります。
- <経路> 多くの場合、タオルの共用や手指を介した接触により感染しますが、咳やくしゃみなどの飛沫でも感染します。
- <予防> 目やにが感染源となるため、ハンカチやタオルではなく、なるべく使い捨てのものでふき取りましょう。手洗いを十分に行い、タオルの共用は避けましょう。

**新型コロナウイルス感染症の患者報告数は19.94でした。
前週より減少していますが、引き続き注意が必要です。**

新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルスが原因で起こる疾患です。

- <症状> 発熱や風邪症状(のどの痛み、咳、食欲不振、倦怠感、頭痛、下痢)が特徴です。
- <経路> 手指に付着したウイルスや、感染者の咳、くしゃみや会話などで生じるウイルスを含んだ飛沫や空気中を漂うエアロゾルが、目や気道の粘膜に侵入することで感染します。
- <予防> 流水、石けんによる手洗い、咳エチケット(マスク等)を励行し、体の抵抗力を高めるように十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
※マスクの着用については、個人の判断が基本となっています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
年齢区分	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	
0歳	0.35	1.29		0.27	0.09	0.91				0.55				
1～3歳	4.41	2.29		0.91	1.00	7.09		0.64		0.09				
4～6歳	13.47	3.18		1.09	2.27	6.00		0.09						
7～9歳	14.59	2.18		0.27	1.45	5.64								
10～14歳	15.65	3.94		0.18	0.45	4.73								
15～19歳	2.12	1.29			0.09	0.45								
20歳以上	2.41	5.76		0.09	0.18	0.27								
計(今週)	53.00		19.94	0.00	2.82	5.55	25.09	0.00	0.73	0.00	0.64	0.00	0.00	
	再掲	A型												5.12
		B型												47.76
	不明	0.12												
70歳以上(再掲)	0.12	1.35												
前週	46.94	26.71	0.09	3.82	7.55	24.36	0.27	0.64	0.00	0.55	0.00	0.00	0.00	

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに概算して計上
(定点医療機関数 インフルエンザ・新型コロナウイルス17 小児科11)

全数報告 (市内医療機関分)	年代	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25歳以上
	麻しん	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	0

警報・注意報の基準値

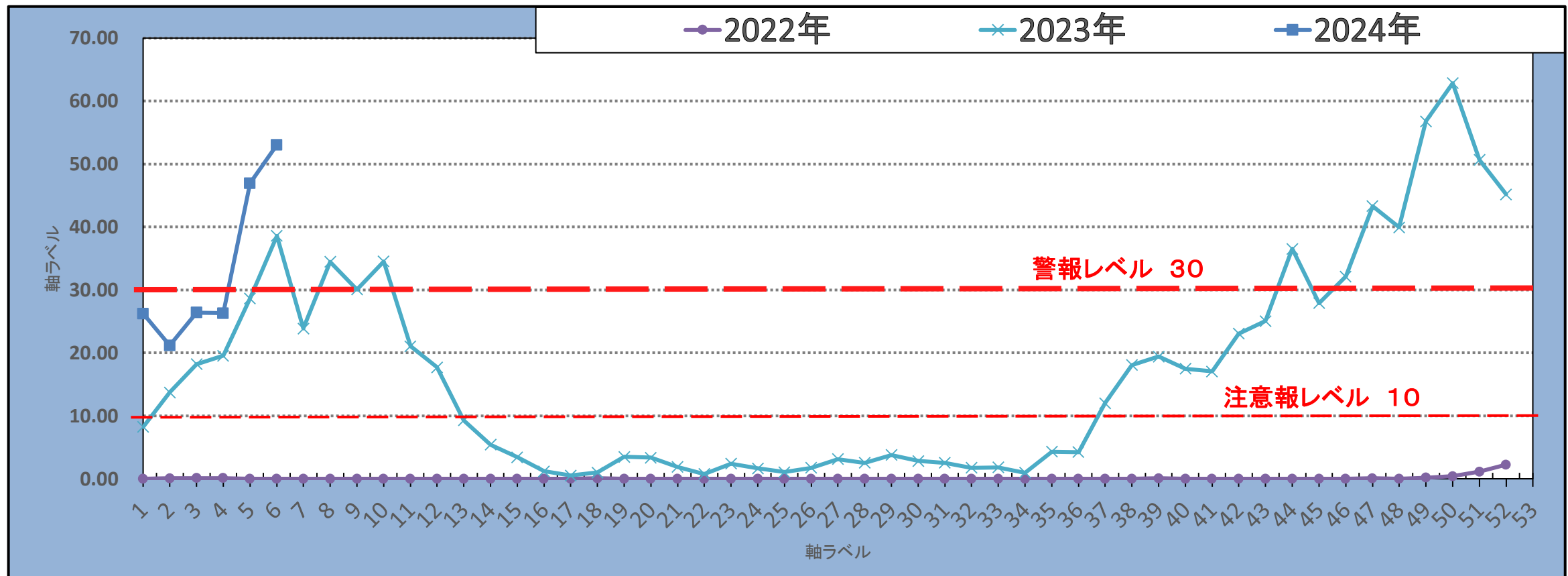
疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
感染性胃腸炎	20	12	

・警報レベル・・・大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

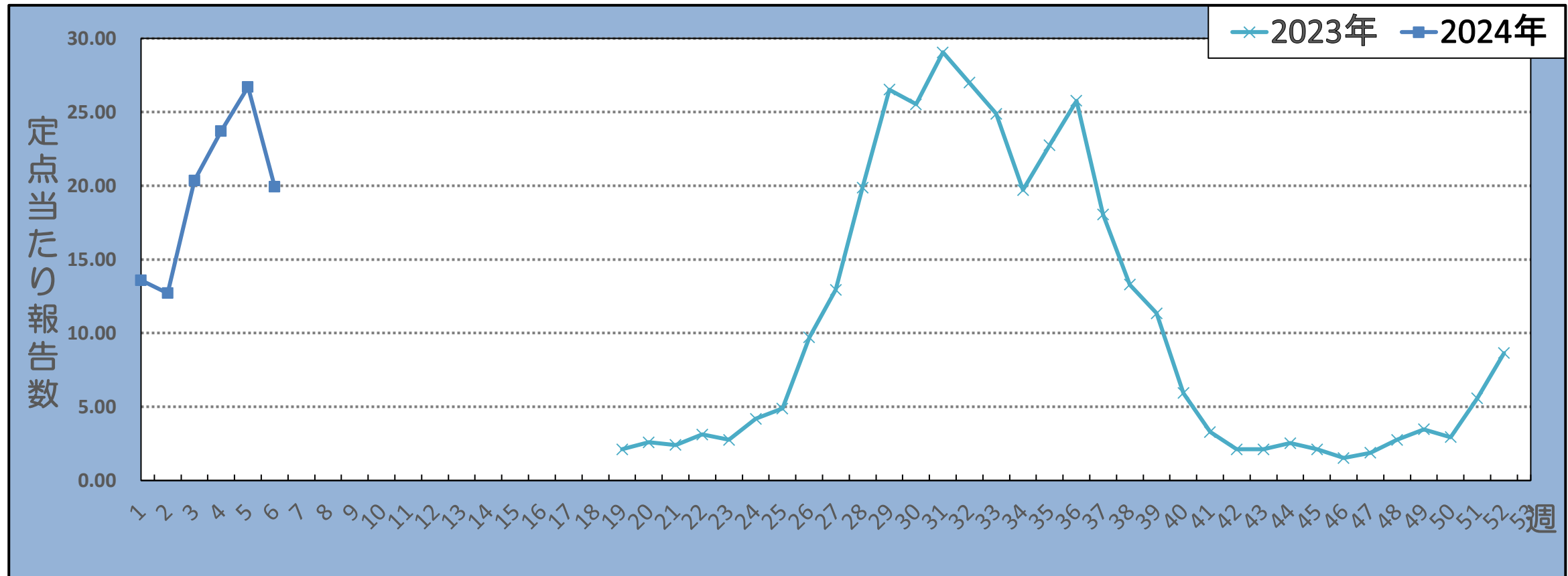
・注意報レベル・・・流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。

※新型コロナウイルスについては、「警報レベル」および「注意報レベル」はありません。

定点当たり報告数 インフルエンザ（3年間）



定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



定点当たり報告数 感染性胃腸炎（3年間）

